

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	1	母子保健
4年後のまち	①	パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。
	②	健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①				設問②					
パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。				健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。					
回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	35	6.8%	9.3%	9.3	そう思う	88	16.6%	20.8%	20.8
どちらかというと思う	128	24.8%	34.0%	25.5	どちらかというと思う	195	36.8%	46.1%	34.6
どちらとも言えない	145	28.1%	38.6%	19.3	どちらとも言えない	117	22.1%	27.7%	13.8
どちらかというと思わない	42	8.1%	11.2%	2.8	どちらかというと思わない	15	2.8%	3.5%	0.9
そう思わない	26	5.0%	6.9%	0.0	そう思わない	8	1.5%	1.9%	0.0
わからない	115	22.3%			わからない	88	16.6%		
無回答	25	4.8%			無回答	19	3.6%		
総数	516	100.0%			総数	530	100.0%		
有効回答数	376		100.0%	56.9	有効回答数	423		100.0%	70.1
全設問の平均									63.5

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	妊娠11週以前での妊娠届出率(%)	妊娠届出総数に対する11週以前での妊娠届出数の割合。できるだけ早期に妊娠届出を行うよう啓発を行い、妊娠初期から母体及び胎児の健康管理の機会をつくることを目指します。		H27	H27
				94.4	94.2
担当課	健康課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 初診された医療機関からの指導によって届出の時期が若干遅れたことが要因の一つと考えられる	指標の把握方法(数値の出所) 妊娠届出	
	新生児・乳児訪問の実施率(%)	新生児訪問やこんにちは赤ちゃん事業など乳児期に行った、保健師・助産師訪問の実施率。出産後の不安を抱えやすい時期に、専門職による訪問を行うことで、育児に関する知識の普及や不安の解消を図り、母親の心身の健康状態の安定を図ります。		H27	H27
				97.4	96.2
担当課	健康課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無> 昨年よりも訪問拒否は減ったものの、転出したことにより訪問できなかったケースが増加したため。	指標の把握方法(数値の出所) 訪問実績報告	
3	乳幼児健診受診率(%)	乳幼児(3か月児、7か月児、12か月児、1歳6か月児、3歳6か月児)健診の平均受診率。健診体制の見直しを行った(平成24年)ことにより、更なる受診率向上を目指します。		H27	H27
				99.0以上	96.4
担当課	健康課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 3歳6か月児健診は、すでに幼稚園や保育園での内科健診を受けている児が増加していることにより、受診率が88.7%と昨年度よりも減少した。	指標の把握方法(数値の出所) 乳幼児健診対象児のうち受診した児の割合	

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②2	妊婦健康診査や乳幼児健康診査を受け、健康状態を把握している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	39	7.4%	31.5%	31.5
取り組んでいる	37	7.0%	29.8%	22.4
少し取り組んでいる	17	3.2%	13.7%	6.9
あまり取り組んでいない	12	2.3%	9.7%	2.4
全く取り組んでいない	19	3.6%	15.3%	0.0
無回答	35	6.6%		
該当しない	368	69.8%		
総数	527	30.2%		
有効回答数	124		100.0%	63.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	働く妊婦や母親に対し、利用できる制度の情報提供を行います。	母子健康手帳交付	妊娠届けによる母子手帳発行数:850件 妊娠届出者全員に対し、保健師等の専門職が面接を実施。各種制度の説明を行った。 850件/902件=94.2%		健康課
①2	妊娠・出産・子育てに関する知識、技術を習得する機会や情報の提供を行います。	パパママ教室・パパ講座	初妊婦およびそのパートナーが妊娠・出産・育児に関する知識と技術を習得する機会として、「パパママ教室」「パパ講座」を実施した。 パパママ教室参加延べ人数:366人 パパ講座参加者数:270人	妊娠届出者数の減少に伴い、教室参加者数が減少。	健康課
①3	父親の母親に対する精神的支援や理解の必要性の啓発を行います。	パパ講座、父子手帳交付	パパ講座に参加した夫婦数:135組 定員に対する参加率:135組/180組=75.0%	参加希望者数が開催月によって偏りがあり、何組かは参加を断らざるを得ない月があり、全体の参加組数の減少となった。	健康課
①4	妊産婦・新生児訪問や妊婦健康診査を実施します。	妊婦一般健康診査、妊産婦・新生児訪問指導事業	新生児・乳児訪問の実施率 933/970=96.2%（対象者に対する実施率） 未訪問理由…訪問拒否10件・電話訪問1件・里帰り先での訪問5件・転出等21件		健康課
①5	未熟児への支援のため、産科医療機関との連携を強化します。	未熟児訪問指導事業	出産医療機関からの情報提供により未熟児訪問指導を実施した。 未熟児訪問延べ件数:43件		健康課
①6	不育症治療費の助成制度の創設を検討するとともに、相談体制の検討を行います。	不育症治療費助成事業【マニフェスト 33】	不育症治療費助成制度を創設した（H28から運用開始）。不育症の相談については、専門の相談員が対応する「奈良県不妊専門相談センター（不育症の相談も対応可能）」を紹介した。		健康課
②1	母子保健推進ボランティアの能力向上のための研修等を行います。	母子保健推進員研修会	健康づくり推進員対象に年2回の研修会を実施した。		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。	乳幼児健康診査事業【マニフェスト 19】	3か月・7か月・12か月・1歳6か月・3歳6か月乳幼児健康診査を実施した。 平均受診率:97.4%		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。	親子教室での集団支援、個別発達相談【マニフェスト 19】	親子教室（ひまわり教室、なかよし教室、なかよし広場）を実施し、児の成長発達を促すとともに、保護者支援を行った。 参加人数:126人 延べ参加人数:868人		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。	幼稚園、保育園への施設支援事業【マニフェスト 19】	市内幼稚園・保育園へ発達相談員および保健師が巡回し、集団生活での状況観察や養育者からの相談に対応し、幼児の発達支援を行った。		健康課
②3	疾病予防のために、予防接種を実施します。	各種予防接種事業	定期予防接種（ヒブ・小児用肺炎球菌・4種混合・BCG・水痘・麻疹風疹・日本脳炎・ジフテリア破傷風・子宮頸がん・高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌）を実施した。		健康課
②4	健診未受診者の追跡システムを構築し、医療機関その他関係機関との連携の強化を図ります。	乳幼児健康診査事業	健診対象月の2か月後に未受診者を抽出し、保育園・幼稚園等への所属の確認を行う。所属のない児については、保健師が電話にて確認。連絡が取れない児については、家庭訪問や医療機関への受診状況の確認を行うなど児の状況確認に努めた。なお、連続未受診者については、現認ができれば要対協への通告を行うが、今年度は0件。		健康課

②5	発達や育児への不安の解消等、親への支援と子どもの健全な育成のため、子育て・発達相談及び家庭訪問を実施します。	乳幼児訪問指導事業、各種育児相談	未熟児・新生児・こんにちは訪問を実施。また6か月児・10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児不安の解消および発達支援を行った。	健康課
②6	子育てに関する知識、技術を習得する機会や交流の場の提供を行います。	各種育児教室	6か月児・10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児に関する助言を行った。また、離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。	健康課
②7	障がい児や発達に遅れのある子どもの、医療機関や児童福祉施設等との連携による早期療育や相談体制の充実を図ります。	障がい児相談支援事業【マニフェスト 19】	障がい児や発達に遅れのある子どものための相談支援センターの設置。この他、サポートブック「たけまるノート」の活用による関係機関との連携や個別のケース会議などを通して早期療育や相談体制の充実に向けた。	障がい福祉課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	63.5	B	妊娠届出者の減少が著しく、妊婦やパートナーを対象とした教室への参加者も減少している。各種子育て支援策は年々充実しているが、妊娠する人はここ数年減少傾向である。今後も妊娠届出数の減少が継続するようであれば、婚姻率や不妊・不育症などの要因について調査が必要と考える。乳幼児健診や新生児・乳児訪問等の利用率は高く、保護者の育児不安の解消や、児の成長発達の支援が行っていると判断したため、進捗度はBとした。
指標	いずれの指標も目標値に達していない		
市民の役割分担	63.1		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	2	保育サービス
4年後のまち	①	子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。
	②	保育サービスが充実し、必要なときに必要なサービスが受けられている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。				設問②	保育サービスが充実し、必要なときに必要なサービスが受けられている。			
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	76	14.2%	17.8%	17.8	そう思う	36	7.0%	9.2%	9.2
どちらかというと思う	110	20.6%	25.8%	19.3	どちらかというと思う	133	25.8%	34.0%	25.5
どちらとも言えない	142	26.6%	33.3%	16.6	どちらとも言えない	139	26.9%	35.5%	17.8
どちらかというと思わない	70	13.1%	16.4%	4.1	どちらかというと思わない	50	9.7%	12.8%	3.2
そう思わない	29	5.4%	6.8%	0.0	そう思わない	33	6.4%	8.4%	0.0
わからない	89	16.7%			わからない	102	19.8%		
無回答	18	3.4%			無回答	23	4.5%		
総数	534	100.0%			総数	516	100.0%		
有効回答数	427		100.0%	57.8	有効回答数	391		100.0%	55.7
						全設問の平均		56.8	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	保育所待機児童数(人)【マニフェスト 34】	保育所入所申込者のうち、保育所に入所できなかった児童数(4月1日現在)。子育て家庭を取り巻く環境や就労の動向を考慮しながら、待機児童の減少を目指します。		H28	H28
	担当課			10	54
	こども課			指標の把握方法(数値の出所)	
				入所児童選考結果(新年度4月1日現在)	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	一次預かり保育の延べ利用児童数(人)	家庭において一時的に保育が困難になった乳幼児について、保育所等で一時的に預かり、必要な保護を行うことにより、在宅で保育を行っている家庭等を支援します。		H27	H27
	担当課			6,800	6,749
	こども課			指標の把握方法(数値の出所)	
				補助金実績報告	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	保育所、学童保育の利用に際して応分の保育料を負担している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	28	5.2%	25.0%	25.0
取り組んでいる	15	2.8%	13.4%	10.0
少し取り組んでいる	14	2.6%	12.5%	6.3
あまり取り組んでいない	16	3.0%	14.3%	3.6
全く取り組んでいない	39	7.3%	34.8%	0.0
無回答	36	6.7%		
該当しない	386	72.3%		
総数	534	100.0%		
有効回答数	112		100.0%	44.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	保育所と地域のふれあい事業へのボランティア参加の啓発や情報提供など、保育所と地域との積極的な交流を実施します。	はとぼっぼ公園清掃事業	毎月1回中保育園年長児が自治会員とともに清掃作業を行った。		こども課
①1	保育所と地域のふれあい事業へのボランティア参加の啓発や情報提供など、保育所と地域との積極的な交流を実施します。	公私立保育所の園庭開放	公立4園、私立9園で、地域の子どもたちに園庭を開放し、園庭遊びだけでなくお話し会や季節ごとの行事などを月1回実施した。		こども課
①2	学童保育児童の安全確保や地域行事参加への協力を得るため、地域住民への学童保育制度の周知を図ります。	民生児童委員との連携事業	3年に1回行政福祉研修会開催時に、登降所時の見守り等を依頼している。		こども課
①3	保育所に入所している子どもの就学に向けて、幼稚園・学校との積極的な連携を図ります。	就学前教育相談事業	特別な支援を必要とする幼児の生活や就学に関することを、就学前の5歳児を対象に年1回相談事業を実施した。		こども課
①4	保育士・学童保育指導員の資質の向上を図るための研修を実施します。	放課後児童クラブ職員研修事業	救急法・衛生・人権・メンタルヘルス・食物アレルギー等の研修を開催するとともに、奈良県主催の研修会等へも参加し、資質の向上を図った。		こども課
①4	保育士・学童保育指導員の資質の向上を図るための研修を実施します。	保育士職員研修の充実	生駒市保育会主催の研修を年4回実施した。 生駒市交流学習会を4回実施し、公私立の保育士の資質の向上を図った。		こども課
②1	適正な保育サービスが提供されるよう保育事業者に対して指導・支援を行います。	私立保育所運営費等補助事業	市単独補助を含め、保育所運営費に対する補助を行った。		こども課
②2	より円滑な学童保育運営を図るために、保護者・学校との連携を図ります。	学童保育運営事業	学校内で起こった特別な出来事等を学童・保護者へ引き継ぎ、情報の共有・連携を図った。		こども課
②3	多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育の充実を図るために、幼保一体化の検討を進めます。	(仮称)南こども園整備事業	H28年3月に南こども園建設工事を完了し、同年4月から開園した。		こども課
②3	多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育の充実を図るために、幼保一体化の検討を進めます。	(仮称)高山認定こども園整備事業の促進	高山スーパースクールゾーン構想の進捗に伴い、生駒北小学校跡へのこども園の建設が決まり、H30年4月の開園に向け、開設懇話会を2回開催した。		こども課
②4	保護者のニーズに合わせた延長保育、一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育を実施するとともに、更なる保育サービスの充実に向けての検討を行います。	特別保育実施事業 【マニフェスト 37】	・一時預かり保育事業をあいづろ分保育園で開始し、市内7園で実施した。 ・一時預かり利用児童数：合計6,749人 達成率：6,749人/6,800人 = 99%		こども課
②5	学童保育の適正規模を維持するとともに、安全かつ衛生的で快適な保育環境の確保を図ります。	学童保育施設整備事業	児童数の増加に伴い、真弓学童の分割工事を実施し、快適な保育環境を確保した。		こども課

②6	増加する保育需要に対応するため、保育所整備を行います。	保育所緊急整備事業【マニフェスト 34】	もり保育園の新設に対して補助を行い、120人の定員増を図った。		こども課
②6	増加する保育需要に対応するため、保育所整備を行います。	北部地区の保育所整備事業【マニフェスト 34】	もり保育園の新設に対して補助を行い、120人の定員増を図った。		こども課
②7	駅前空き店舗等を利用した小規模保育事業を推進します。	駅前空き店舗等を利用した小規模保育事業の推進【マニフェスト 36】	H28年1月に「にじ保育園」を開園するとともに、同年2月に「いちぶちどりキッズ」を開園し、21人の定員増を図った。また、両園の建設費等に対し、補助を行った。		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	56.8	C	保育所待機児童数については、保育所の整備に努めたものの、就労世帯の流入増加及び保育施設の整備に伴う保育ニーズの掘り起こしが影響したことにより、待機児童問題の解消に向けて予定通りには進捗しなかった。また、保育所が恒常的に定員超過状態にあるため、ひとり親家庭の保育ニーズに応えられない時があった。 通常保育以外の延長保育、病児・病後児保育、休日保育、病児・病後児保育サービスについては、概ねニーズに対応することができた。 以上の進捗状況を踏まえ、進捗度はCと判断した。
指標	いずれの指標も目標値に達していない		
市民の役割分担	44.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	3	子育て支援
4年後のまち	①	地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。
	②	家庭、学校、地域、各機関が連携し、子どもと子育ての環境を守ることにより、子育て家庭が安全に安心して暮らしている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。					設問② 家庭、学校、地域、各機関が連携し、子どもと子育ての環境を守ることにより、子育て家庭が安全に安心して暮らしている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	63	11.9%	15.1	15.1	そう思う	74	13.9%	16.8	16.8
どちらかというと思う	138	26.0%	33.2	24.9	どちらかというと思う	170	31.8%	38.5	28.9
どちらとも言えない	155	29.2%	37.3	18.6	どちらとも言えない	139	26.0%	31.5	15.8
どちらかというと思わない	44	8.3%	10.6	2.6	どちらかというと思わない	37	6.9%	8.4	2.1
そう思わない	16	3.0%	3.8	0.0	そう思わない	21	3.9%	4.8	0.0
わからない	90	17.0%			わからない	74	13.9%		
無回答	24	4.5%			無回答	19	3.6%		
総数	530	100.0%			総数	534	100.0%		
有効回答数	416		100.0%	61.3	有効回答数	441		100.0%	63.5
全設問の平均								62.4	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	ファミリー・サポート事業の利用件数(件)	ファミリー・サポート事業の年間の延べ利用件数。事業の利用促進や援助会員(援助できる人)を増やすよう取り組み、過去の推移や将来の子どもの人数などを踏まえて、平成30年度に2,700件を目標とします。		H27	H27
	担当課			2,400	2,642
	子育て支援総合センター			指標の把握方法(数値の出所)	
				実際の利用者数から現状を判断して算出	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	地域子育て支援拠点の利用者数(人)	子育て中の親子が好きな時に集まり、遊んだり、悩みを語ったりできる場所である「地域子育て支援拠点」の年間の延べ利用者数。過去の推移や将来の子どもの人数などを踏まえて、利用者の増加を図り、子育て家庭の孤立化を防ぎます。		H27	H27
	担当課			25,000	30,660
	子育て支援総合センター			指標の把握方法(数値の出所)	
				実際の利用者数から現状を判断して算出	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	子育てについて近隣同士がお互いに関心を持ち合っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	23	4.5%	4.7%	4.7
取り組んでいる	71	13.8%	14.5%	10.9
少し取り組んでいる	146	28.3%	29.9%	15.0
あまり取り組んでいない	113	21.9%	23.2%	5.8
全く取り組んでいない	135	26.2%	27.7%	0.0
無回答	28	5.4%		
総数	516	100.0%		
有効回答数	488		100.0%	36.4

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	活動場所を含めて子育てでサークルへの支援を充実するとともに、子育て負担の軽減を図ります。	子育てでサークル活動支援事業【マニフェスト 39】	子育てでサークルのネットワークであるいこま育児ネットの企画会・交流会の開催支援やアドバイス、育児フォーラムの開催協力、行事の広報紙への掲載支援、育児サークルへの出前保育を実施した。		子育て支援総合センター
①2	ファミリー・サポート事業における援助会員など、地域における子育て支援に関わる人材の確保に努めます。	ファミリーサポート事業	活動件数:2,642件 ・交流会(2回)、出張登録会(4回)を開催し、会員の確保に努めた。また、74件のコーディネートを行った。 ・人材育成のためのスキルアップ講座を13回開催した。		子育て支援総合センター
①3	子育てに関する相談や情報提供を行います。	各種育児相談事業	6ヶ月児・10ヶ月児・2歳6ヶ月児・3歳児育児相談を実施し、育児に関する助言を行った。また、離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。	6ヶ月児を対象とした、離乳食相談は、利用者数が少ないため、実施方法を見直し、H28から、ひろば事業と共同で実施し、利便性の向上を図る。	健康課
①4	ボランティア養成講座や子育て支援に関する研修会など、誰もが子育てに興味を持ち、参加できるような機会を拡大します。	ボランティア養成講座事業	子育て支援ボランティア養成講座を6回開催し、12人が修了した。次年度からの託児ボランティア活動や、子育て支援ボランティア団体への加入を予定している。		子育て支援総合センター
①4	ボランティア養成講座や子育て支援に関する研修会など、誰もが子育てに興味を持ち、参加できるような機会を拡大します。	母子保健推進員研修会事業	健康づくり推進員対象に年2回の研修会を実施した。 また、H26に養成した託児ボランティアの活動の場を拡大した。		健康課
①5	子育て支援総合センターを整備し、ひろば事業、地域子育て支援拠点事業及びファミリー・サポート事業等を一体的に提供することで、子育て支援体制の充実を図ります。	子育て支援総合センターの整備	子育て支援総合センターをH26に設置し、ファミリー・サポート事業とひろば事業を実施した。 子育て支援総合センターの事務所とみつきランドの拡張整備を行い、H27年9月からはみつきランドを土曜日にも開所することとした。		子育て支援総合センター
①6	ICTを利用した子育て支援情報の発信や子育て支援総合センター実施事業の周知を図ります。	ホームページやモバイル版での子育て支援総合センター実施事業の周知と利用利便性の向上【マニフェスト 38】	子育てで家庭の外出支援を目的とした「赤ちゃんの駅」事業において、若い世代が手軽に子育て支援情報にアクセスできるよう、スマホアプリ「ベビ☆マ」の活用を検討した。		子育て支援総合センター
①6	ICTを利用した子育て支援情報の発信や子育て支援総合センター実施事業の周知を図ります。	推奨児童図書の一部オープンデータ化事業【マニフェスト 38】	図書館が作成、配布している対象年齢の異なる5種類のブックリスト掲載図書データの一部オープンデータ化を行うにあたり、H27にその準備作業を行い、H28年3月には2種の絵本リストを、7月には3種のみみのリストを公開する。		図書館
②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	各種保育事業	通常保育以外の延長保育、病児・病後児保育、休日保育サービスを実施し、多様な働き方への支援を行った。		こども課
②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	ワークライフバランスの普及啓発	市内公共施設においてパンフレット等によりワークライフバランスの周知啓発を行った。		男女共同参画プラザ 経済振興課
②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	テレワークの検討	アールいこまやい館の3階と4階部分において(仮称)テレワーク&インキュベーションセンターを整備するため、平成29年3月からのセンター稼働を目指し、概要やスケジュールの調整を行った。		経済振興課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

213子育て支援

②2	子育てや家庭で心配なことなどの相談事業を実施するとともに、子育てに悩む人のメンタルケアができる人材の確保に努めます。	家庭児童相談室事業	18歳未満の児童について、育児に関する相談等こどもの発達や家庭のさまざまな問題の相談を臨床心理士や社会福祉士の資格をもつ家庭相談員が対応した。来所相談以外に「ゆう子育て相談ダイヤル」による電話相談も実施した。また、家庭相談員には、さまざまな相談への対応などの研修を受講させ、スキルアップにも努めた。相談の件数:2,962件 相談ダイヤルへの相談件数:70件		こどもサポートセンター
②3	育児教室など各種教室を行い、相談・交流の場を充実します。	各種育児教室事業	離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。また、パパママ教室参加の妊婦との交流を図り、先輩ママとして自信が持てるよう支援を行った。		健康課
②3	育児教室など各種教室を行い、相談・交流の場を充実します。	パパのための子育てイベントの開催	赤ちゃんとの関わり方や遊び方を伝えることにより、父親の子育てへの積極的な関わりを促し、父親同士の交流を図る「パパセミナー」を2期(1期3回)実施した。		子育て支援総合センター
②4	事業・施設の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成し、啓発に努めます。	子育て応援パンフレット作成事業	ファミリーサポートや各事業についてのパンフレットを作成し、他課の協力を得ながら配布して子育て支援事業の周知啓発に努めた。		子育て支援総合センター
②4	事業・施設の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成し、啓発に努めます。	赤ちゃんの駅普及啓発事業	事業実施要綱を制定し、モデルスペースを募集し、私立幼稚園・保育園8園におむつ交換台等の整備を行った。また、登録施設募集及び市民向け周知チラシ等を作成し事業啓発を行った。		子育て支援総合センター
②5	要保護児童対策地域協議会の強化を図り、医療機関・保健機関・教育機関等、地域の関係機関との連携を深めて、児童虐待の防止の啓発・発生子防・早期発見に努めます。	要保護児童対策地域協議会事業 【マニフェスト 40】	要保護児童対策地域協議会代表者会議をH27年7月、オレンジボンキャンペーンをH27年11月、実務者会議を月2回(年24回)、個別ケース検討会議を266回、受理会議を30回行い、また、要請に応じて民生児童委員、学童指導員、幼稚園教員などを対象に児童虐待についての研修を実施し、関係機関との連携強化及び市民への児童虐待の早期発見の啓発を行った。		こどもサポートセンター
②6	児童虐待等防止啓発事業を促進します。	CAPこどもワークショップ・おとなワークショップ 【マニフェスト 40】	オレンジボンキャンペーンの事業として「CAPおとなセミナー」を開催した。当初は、講演会形式での実施を予定していたが、応募者が少なかったことから(14人)、ワークショップ形式に変更して実施したところ、好評だった。		こどもサポートセンター
②7	ひとり親家庭の生活の安定を図るため、経済的な支援を行うとともに、自立支援を促進します。	自立支援事業	ひとり親家庭の自立を支援するため、高等職業訓練促進費を14世帯に支給した。		こども課
②8	子育て世代のニーズ調査を行い、ニーズに即したサービスの提供を図ります。	子ども・子育て支援事業計画策定事業	子ども・子育て会議を2回開催し、地域子ども子育て支援事業計画の進行管理を行った。		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	62.4	B	子育ての不安を少しでも軽減し、また親子の孤立化を防ぎ、楽しく子育てできるよう、様々なつながりができるようなかたちでのひろば事業や、拠点事業、子育てプログラム、養育支援訪問事業を実施した。健康課、こども課、子育て支援総合センターが連携をとりながら、それぞれの家庭の事情に応じたきめ細やかな対応をし、必要な家庭に対しては、子育て相談に繋げ、児童虐待予防にも効果をあげていると考える。また、地域子育て支援拠点であるみつきランドの開所日を土曜日まで拡大したことにより、子育て支援体制が充実した。以上の進捗状況を踏まえ、進捗度Bと判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	36.4		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	1	幼稚園教育
4年後のまち	①	幼稚園、保育園、学校、家庭及び地域の連携のもと、幼児一人ひとりの発達の特性を活かした就学前教育が進んでいる。
	②	幼児たちがのびのびと学び育つ安全・安心な環境が整えられている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 幼稚園、保育園、学校、家庭及び地域の連携のもと、幼児一人ひとりの発達の特性を活かした就学前教育が進んでいる。					設問② 幼児たちがのびのびと学び育つ安全・安心な環境が整えられている。					
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	36	7.0%	9.6%	9.6	そう思う	72	13.6%	16.9%	16.9	
どちらかというとそう思う	102	19.8%	27.1%	20.3	どちらかというとそう思う	159	30.0%	37.4%	28.1	
どちらとも言えない	161	31.2%	42.8%	21.4	どちらとも言えない	142	26.8%	33.4%	16.7	
どちらかというとそう思わない	50	9.7%	13.3%	3.3	どちらかというとそう思わない	32	6.0%	7.5%	1.9	
そう思わない	27	5.2%	7.2%	0.0	そう思わない	20	3.8%	4.7%	0.0	
わからない	115	22.3%			わからない	80	15.1%			
無回答	25	4.8%			無回答	25	4.7%			
総数	516	100.0%			総数	530	100.0%			
有効回答数	376		100.0%	54.7	有効回答数	425		100.0%	63.6	
					全設問の平均					59.1

2-1 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	幼稚園と小・中学校との連携事業数(件)	幼稚園(全9園)と小・中学校が相互に訪問し、体験入学や遊びなどを通じて交流する事業の件数。小学校への移行が円滑に行われ、安心して学校生活が送れるよう、平成29年度には1園当たり12事業以上の連携を目指します。		H27	H27
				98	113
担当課	教育指導課・こども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所)	
				幼稚園・小中学校からの実施報告	
2	市立幼稚園の耐震化率(%)	2階建て又は200㎡以上の建物の棟数に対して耐震基準を満たしている棟数の割合。園児の安全を確保するため、計画的に耐震化を進めます。		H27	H27
				75	90
担当課	こども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所)	
				施設台帳からの調査結果	

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①2	保護者は、自らの役割を自覚し、よりよい家庭教育を進めている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	36	6.8%	28.1%	28.1
取り組んでいる	48	9.1%	37.5%	28.1
少し取り組んでいる	34	6.4%	26.6%	13.3
あまり取り組んでいない	2	0.4%	1.6%	0.4
全く取り組んでいない	8	1.5%	6.3%	0.0
無回答	43	8.1%		
該当しない	358	67.7%		
総数	529	100.0%		
有効回答数	128		100.0%	69.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育園、学校との連携を図り、国の動向や地域の状況等を踏まえ、こども園の開設に向けた取組を行います。	(仮称)南こども園開設事業【マニフェスト 47】	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育所の良いところを活かしながら、教育・保育を一体的に行うため、南こども園を新築し、H28年4月1日に開園した。		こども課
①1	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育園、学校との連携を図り、国の動向や地域の状況等を踏まえ、こども園の開設に向けた取組を行います。	(仮称)高山認定こども園【マニフェスト 47】	高山幼稚園、北俣保育園の職員の交流は、5回実施した。懇話会の設置については、来年度設置を予定している。		こども課
①2	私立幼稚園、保育園との連携を深め、最新の知見を踏まえた教員研修等を合同で実施します。	生駒市幼稚園教育研究会	年4回の研修の場を持ち、職員の資質向上に努めた。		こども課
①3	幼稚園・小学校・中学校・保育園の意見交換を積極的に行います。	保幼小中交流学習会	幼小の職員連絡会を実施したり、幼保の研修会を3回実施、園内教育研究会に参加しあうなど、意見交換の場を持った。		こども課
①3	幼稚園・小学校・中学校・保育園の意見交換を積極的に行います。	保幼小中交流学習会	地域ぐるみの児童生徒健全育成推進事業の一環として、保・幼・小・中学校の教職員が学ぶ場を、年に1度実施した。H27年8月26日に「子どもや保護者の悩みにどうこたえるか」を演題として、生駒市スクールカウンセラーの木邨真美氏による講演を実施した。		教育指導課
①4	家庭教育学級を充実し、保護者へ子育てに関する情報提供を行います。	家庭教育学級事業	家庭教育学級の開設学級数:9学級 開催数:49回 参加人数:1,126人	今後継続して全園開催するには、各学級の役員の担い手、人材の発掘及び育成が課題となる。	生涯学習課
①5	アンケート調査など保護者や市民の意見を把握し、ニーズに合った就学前教育を実施します。	学校評価推進事業	幼稚園運営について自己評価を行い、その結果を公表した。また学校関係者評価委員会を設置し、アンケートや自己評価結果を基に学校関係者評価を受け、その公表に努めるとともに、その後の幼稚園経営計画の改善に役立てた。		こども課
①6	学校評議員会等を充実するとともに、学校関係者評価を実施し、自己評価の結果を公表します。	学校評議員会	学校評議員会を各園3回開催した。 学校関係者評価公表率:100%		こども課
①7	スクールボランティアが活動できる範囲を拡大します。	スクールボランティア活動の拡充	地域の人たちに、自分の“得意”を生かして積極的に幼稚園に関わってもらい、地域と幼稚園の相互協力、連携の充実・強化を図った。		こども課
②1	幼児の安全を確保するため、園舎の耐震化を進めるとともに、施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	園舎の施設整備事業	生駒台幼稚園改築工事(H27年9月開園) 南こども園開園に向けた改修工事等 ・南幼稚園解体・南幼稚園造成工事 ・南小学校北館改修工事(仮園舎) ・南こども園新築工事(H28年4月開園)		こども課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

221幼稚園教育

②1	幼児の安全を確保するため、園舎の耐震化を進めるとともに、施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	生駒台幼稚園改築事業	<ul style="list-style-type: none"> ・H22に実施した耐震診断の結果改築が必要となったことから、園舎の改築工事を実施した。 ・構造・規模 2階建て鉄骨構造 保育室10室 遊戯室1室 職員室、会議室各1室 ・改築中は生駒台小学校に仮設園舎を建設 ・H26年8月 仮設園舎建築工事完了 ・H26年9月 旧園舎解体工事完了 ・H26年10月 新園舎建築着工 ・H27年9月 開園 		こども課
②2	就学前教育の取組を分かりやすく公表します。	子育て支援事業	市ホームページや園だより等で、幼稚園の教育活動全般について、保護者や地域に広く情報を提供した。		こども課
②3	市立幼稚園の預かり保育について、実施園の拡大や運営方法、運営時間等を改善し、市民ニーズに一層応える効果的な運営を進めます。	市立幼稚園における預かり保育【マニフェスト 35】	南こども園の幼稚園児について、預かり時間を7:30～18:30に延長するとともに、三期休業中も利用可能とした。		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	59.1	B	全ての指標が目標値を達成し、また、市民の実感度はどの設問も50点を上回っているが、これは目指す「4年後のまち」の実現に向けた幼小地域の連携事業や保育環境の整備などの取組の効果であるものと考えられる。また、市民の役割分担も約70点と高い結果となっており、子育て支援事業の充実の効果等によって市民の取組意識が高まっていると推測できる。 行政の4年間の主な取組では、ソフト事業については、計画通り進捗しているが、ハード事業における幼稚園の耐震化については、H30年4月に解消される見込みである。 分野全体としては、それぞれ設定した取組目標を概ね達成することができていること、また、まちづくりにおける市民の取組意識も高いことから、4年後のまちが概ね実現されていると判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	69.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	2	学校教育
4年後のまち	①	児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。
	②	子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。
	③	市民・地域・事業者・行政が連携して、開かれた学校づくりが進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。	設問②	子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。							
回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価			
そう思う	75	14.0%	17.8	17.8	そう思う	24	4.7%	6.7	6.7	
どちらかというと思う	171	32.0%	40.5	30.4	どちらかというと思う	86	16.7%	23.9	17.9	
どちらとも言えない	117	21.9%	27.7	13.9	どちらとも言えない	189	36.6%	52.5	26.3	
どちらかというと思わない	39	7.3%	9.2	2.3	どちらかというと思わない	35	6.8%	9.7	2.4	
そう思わない	20	3.7%	4.7	0.0	そう思わない	26	5.0%	7.2	0.0	
わからない	86	16.1%			わからない	131	25.4%			
無回答	26	4.9%			無回答	25	4.8%			
総数	534	100.0%			総数	516	100.0%			
有効回答数	422		100.0%	64.4	有効回答数	360		100.0%	53.3	
設問③	市民・地域・事業者・行政が連携して、開かれた学校づくりが進んでいる。									
回答	件数	比率	得点評価							
そう思う	45	8.5%	11.2	11.2						
どちらかというと思う	122	23.0%	30.3	22.8						
どちらとも言えない	169	31.9%	42.0	21.0						
どちらかというと思わない	49	9.2%	12.2	3.0						
そう思わない	17	3.2%	4.2	0.0						
わからない	103	19.4%								
無回答	25	4.7%								
総数	530	100.0%								
有効回答数	402		100.0%	58.0						
全設問の平均				58.6						

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
1	教育相談室等の相談件数(件)	教育相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの学校や保護者からの相談件数。年間各学校あたり2件程度の向上を目指します。		<table border="1"> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>3,020</td> <td>3,441</td> </tr> </table>	目指す値	実績値	H27	H27	3,020	3,441
目指す値	実績値									
H27	H27									
3,020	3,441									
担当課	教育指導課		指標の把握方法(数値の出所) 教育相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの相談件数							
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>							

2	1日30分以上読書をしている児童生徒の割合(%)	1日当たり30分以上読書をしている小・中学生の割合。 小中学校に配置している学校図書館司書を活用して読み聞かせやブックトークを行い、読書の楽しさを伝え読書活動を推進します。		目指す値	実績値
				H27	H27
担当課				34.7	33.1
教育指導課				指標の把握方法(数値の出所)	
				全国学力・学習状況調査の結果	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
3	学校創造推進事業の実施回数(回)	学校が、その道の達人と呼ばれる地域の方や保護者の支援を受けて特色ある教育活動を実施した合計回数。 栽培活動や茶道の指導、動物の飼育などを通じた命の教育を行います。		目指す値	実績値
				H27	H27
担当課				1,640	1,815
教育指導課				指標の把握方法(数値の出所)	
				本事業における学校からの実施報告	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担 (市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①3	児童・生徒の登下校の時間に合わせた道路掃除、散歩、買い物等による子どもたちの見守り活動を行っている。				
回答	件数	比率	得点評価		
十分取り組んでいる	27	5.1%	5.5%	5.5	
取り組んでいる	44	8.2%	8.9%	6.7	
少し取り組んでいる	94	17.6%	19.0%	9.5	
あまり取り組んでいない	111	20.8%	22.5%	5.6	
全く取り組んでいない	218	40.8%	44.1%	0.0	
無回答	40	7.5%			
総数	534	100.0%			
有効回答数	494		100.0%	27.3	

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	社会で活躍できる人材の育成を目指して、教育活動を一層発展させていきます。	社会で活躍できる人材育成のための施策について総合教育会議での協議【マニフェスト 42】	総合教育会議を6回開催し、教育大綱の策定に向け意見交換を行った。		教育指導課
①2	児童生徒一人ひとりの確かな学力の育成のため、個に応じた指導が行えるよう、市独自の少人数学級編成の対象学年の拡大の検討、学びのサポーターの拡充など、多様な教育活動を展開します。	学びのサポーター派遣事業	学びのサポーター 授業援助、学力補充で4,656時間実施した。		教育指導課
①3	「体力向上推進プラン」に基づき、授業や行事を工夫し児童生徒の体力向上を進めます。	体力向上推進プランの推進	全ての小中学校で、全国体力運動能力・運動習慣等調査の結果から児童生徒の実態を分析し、改善に向けた取組プランを策定し、プランに基づいて実施した。		教育指導課
①4	安全・安心な教育環境を整備するため、学校施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	学校施設整備事業	上中学校南館屋上防水改修工事、あすか野小学校階段手すり設置工事等の改修工事を実施した。		教育総務課
①5	保護者への子育てに関する情報を提供し、相談体制を充実します。	教育相談室業務の周知	いじめや不登校等の子育て上の悩みなどについて、子どもや保護者の相談を実施した。 相談件数: 1,583件		教育指導課
①6	スクールアドバイザーを活用し、いじめや暴力行為等の課題の改善に取り組みます。	スクールアドバイザー事業	いじめなどの問題に学校が適切に対応できるよう専門家の支援を即時に受けられる体制を整えた。 弁護士から教育委員会への助言を4回、警察からは随時助言を受けた。		教育指導課

①7	食育を推進します。	給食指導、食育学習の充実	家庭科の学習での食育学習を実施。また、給食指導を通じて好き嫌いなく食べることの大切さを指導。給食残量調査の結果から学校独自に取組目標を設定するなどした。	教育指導課
①7	食育を推進します。	給食指導、食育学習の充実	給食時間を利用して、栄養教諭等がワンポイント指導を実施した。 (各小学校:各学期毎に1回実施。 各中学校:1・2学期に各1回実施。) 3学期においては、全小学校への学校訪問時に調理員も参加することにより、給食をつくる側と食べる側のコミュニケーションをとることが出来、食育の推進につながった。	学校給食センター
①8	学校給食を通じて、正しい栄養や食事のとり方などについて知識啓発を行います。	食に関する啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小学1年生を対象に、栄養教諭等が「きょうしよくのひみつ」をテーマとして指導を実施した。 全ての小学4年生を対象に、栄養教諭等が「成長期の子どもに必要なカルシウムの働き」を指導した。 「食に関する指導」の掲示物や、給食時間に児童生徒が校内放送で読み上げる給食や食に関する「放送原稿」を作成し、各小中学校に配布した。 保護者を対象とした見学試食会や学校保健食育委員会等の際に、栄養教諭等が学校給食や児童生徒の食に関する啓発を行った。 	学校給食センター
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	生駒北小中一貫校(仮称)推進事業(高山スーパーバススクールゾーン構想)【マニフェスト 46】	実施設計を完了し、小中一貫校施設整備工事をH27年10月から着工した。 生駒北小学校敷地の現地測量を完了し、境界確定業務の準備を行った。	教育総務課
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	生駒北小中一貫校(仮称)推進事業(高山スーパーバススクールゾーン構想)【マニフェスト 46】	小中一貫教育準備会議を2回開催した。 通称名について意見交換を行った。	教育指導課
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	9年間を見通した教育課程の作成【マニフェスト 46】	小中一貫教育推進委員会で特色のある教育課程を検討した。	教育指導課
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	奈良先端科学技術大学院大学との連携事業【マニフェスト 46】	中学校2校で先端における特別授業を実施し、中学校6校で先端大教員、院生による出前授業を実施した。	教育指導課
①10	市内小中学校クラブ活動及び部活動などの練習環境・発表の場などの支援を行います。	小中学校クラブ活動及び部活動の練習環境・活動の場の支援事業【マニフェスト 52】	クラブ活動、部活動の活性化を目標として、外部指導者の派遣を検討した。	教育指導課・関係課
①11	全小中学校の省エネルギー化を目指した取組を行います。	鹿ノ台中学校スーパーエコスクール実証事業	太陽光発電設備設置工事を9月に、校舎北館の改修工事を10月に完了した。	教育総務課
①11	全小中学校の省エネルギー化を目指した取組を行います。	エコボーナスの実施	H26の幼稚園、小中学校の電気使用量の削減実績額に応じて、H27の備品購入費として各学校・園に予算を配当した。	教育指導課
①12	学校設備を使いやすく、きれいで、明るく、快適なものにします。	学校トイレ改修事業【マニフェスト 45】	鹿ノ台、あすか野、老分の各小学校の設計業務を3月末までに完了した。	教育総務課
①12	学校設備を使いやすく、きれいで、明るく、快適なものにします。	全教室へのエアコンの導入検討【マニフェスト 48】	H27は学校設備のうちトイレ改修を優先的に実施した。	教育総務課
①13	建物の長寿命化を考慮した老朽化対策を行います。	桜ヶ丘小学校施設老朽化対策先導事業	H27年10月に南館及び体育館の老朽化対策工事を完了した。	教育総務課
①14	学校給食センターの更新に向けて、運営方法、施設設備及びアレルギー対応などについて検討を進めます。	学校給食センター更新の検討【マニフェスト 49】	学校給食センター更新整備計画策定等支援業務の委託事業者をプロポーザル方式により決定し、(仮称)生駒北中学校給食センターと(仮称)生駒南中学校給食センターを整備する基本方針や事業手法等の検討を実施した。 各センターの配送校については、北が小学校の給食、南が中学校の給食とし、献立は小中別献立とすることになった。	学校給食センター
①14	学校給食センターの更新に向けて、運営方法、施設設備及びアレルギー対応などについて検討を進めます。	給食センターの新設に関する懇話会開催【マニフェスト 49】	学識経験者や保護者代表・校長会代表等が参加する学校給食センター更新懇話会を3回開催し、北と南に整備する新しい学校給食センターの整備に関する基本方針等に対し、意見や助言を受けた。	学校給食センター
②1	教職員の資質や能力の向上を図り、子どもたちの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識を伸ばす特色ある教育を行います。	教職員研修	市教委主催研修会を22回開催した。 参加教員延べ:1,521人	教育指導課

②2	朝の読書活動や学校図書館の整備、充実を図り、児童生徒の感性を高め、豊かな人間性を涵養します。	学校図書館司書派遣事業	H27から、17校に週2日、3校に週3日司書を配置し、ブックトークや読み聞かせなどの取組を行った。	教育指導課
②3	伝え合う力の育成の一環として、小学校3年生から外国語活動に取り組みます。	外国語指導助手派遣事業	小中学校への外国語指導助手配置日数：763日 小学校への地域人材配置時間数：810時間	教育指導課
②4	適応指導教室の運営により、不登校児童・生徒の学校生活への復帰を支援するためのカウンセリング、教科指導、集団生活への適応指導等を計画的に実施します。	適応指導教室指導員	欠席日数150日以上の不登校児童生徒数に占める適応指導教室通室生の割合：53%	教育指導課
②5	学校が各界で活躍する方(経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか)を招き、子どもたちに夢を与える講演会等を実施します。	夢を与える講演会・学校創造推進事業等【マニフェスト 43】	校園が地域の方々や保護者が保護者に教育活動の支援にあたる機会を増やしたり、他校種との交流を活性化したりする活動を通して、特色ある教育活動を推進した。実施回数：1,815回	教育指導課
③1	地域ぐるみの児童生徒健全育成事業を通じて小・中学校を支援する取組を行います。	地域ぐるみの児童生徒健全育成事業	地域と連携して児童生徒の健全育成と安全安心な環境づくりを推進する。校区委員会独自の事業7回、校区推進委員会21回、いじめ、子育てをテーマとした講演会実施。交流発表会を実施した。	教育指導課
③2	スクールボランティアなど地域の教育力を活用した取組を充実します。	スクールボランティア活動の拡充	地域の方や保護者を中心に、登下校時の見守り活動や学校行事の手伝い、授業・クラブ活動の補助など、多分野に渡りスクールボランティア活動を実施した。	教育総務課
③3	ホームページ等を通して学校運営や児童生徒の様子を公表します。	ホームページの運営	小中学校で学校教育目標や日々の教育活動をホームページで公表し、開かれた学校づくりに努めた。	教育指導課
③4	学校評価を進めていくために、学校評価シートを効果的に活用します。	学校評価の充実	学校評議員会等を充実するとともに、学校関係者評価を実施し、自己評価の結果を公表した。学校評議員会開催回数：59回 新評価総括表による学校評価の実施率：100% 学校関係者評価公表率：100%	教育指導課
③5	多様な意見の反映や、時代の変化に応じた教育施策の展開など、市全体の教育力向上を図るため、教育委員を市民から公募します。	教育委員の市民公募【マニフェスト 41】	H27年9月に定数条例を改正し定数を8名にし、2人の教育委員を公募した。	教育総務課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	58.6	B	児童生徒の個に応じた指導をサポートする少人数学級編制や学びのサポーターの配置を整えるとともに、教育相談体制を充実し、児童生徒の心のケアに取り組んでいる。学校では、児童生徒の活動を中心とした授業の在り方を授業研究を通して研修を進め、達成感を持たせる体験的な授業を行うとともに、読書活動の推進、学校創造推進事業を中心に命の大切さを学ぶ取組を実施し、心の教育の充実を図っている。また、外国語指導助手を活用することにより、外国語への興味を高める取組も進めている。学校施設の整備では、耐震化も完了し、老朽化対策やトイレの洋式化整備など計画的に取組を進めている。さらに、地域ぐるみの活動を中心に、市民・地域・行政が協力した学校支援体制も整っている。以上のとおり、それぞれの施策が順調に成果を上げてきていることから、進捗度Bと判断した。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	27.3		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	3	特別支援教育
4年後のまち	①	特別支援体制の充実により一人ひとりの発達段階に応じた教育が行われている。
	②	読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。
	③	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 特別支援体制の充実により一人ひとりの発達段階に応じた教育が行われている。					設問② 読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	38	7.1%	10.0%	10.0	そう思う	32	6.2%	9.7%	9.7
どちらかというと思う	94	17.6%	24.7%	18.5	どちらかというと思う	67	13.0%	20.2%	15.2
どちらとも言えない	162	30.3%	42.5%	21.3	どちらとも言えない	182	35.3%	55.0%	27.5
どちらかというと思わない	52	9.7%	13.6%	3.4	どちらかというと思わない	33	6.4%	10.0%	2.5
そう思わない	35	6.6%	9.2%	0.0	そう思わない	17	3.3%	5.1%	0.0
わからない	125	23.4%			わからない	160	31.0%		
無回答	28	5.2%			無回答	25	4.8%		
総数	534	100.0%			総数	516	100.0%		
有効回答数	381		100.0%	53.1	有効回答数	331		100.0%	54.8
設問③ 特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。									
回答	件数	比率	得点評価						
そう思う	38	7.2%	11.8%	11.8					
どちらかというと思う	106	20.0%	33.0%	24.8					
どちらとも言えない	131	24.7%	40.8%	20.4					
どちらかというと思わない	35	6.6%	10.9%	2.7					
そう思わない	11	2.1%	3.4%	0.0					
わからない	187	35.3%							
無回答	22	4.2%							
総数	530	100.0%							
有効回答数	321		100.0%	59.7					
全設問の平均				55.9					

2-1 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	特別支援教育支援員等の各校園への配置率(%)	幼稚園9園、小学校12校、中学校8校に対する特別支援教育支援員の配置校の割合。 学校・園の要望を受けて、平成30年度には全ての幼稚園、小学校と中学校6校に配置を目指します。		H27	H27
担当課			指標の把握方法(数値の出所)	91.7	86.2
教育指導課			市による特別支援教育支援員配置学校数		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	ことばの教室・通級指導教室エルへの通級者数(人)	読み書きやコミュニケーションなどで困っている子どもたちを支援するための教室への通級者数。 通級者が社会への適応能力を高めることを目指します。		H27	H27
担当課			指標の把握方法(数値の出所)	140以上	125
教育指導課			当該施設からの報告		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
3	特別支援教育相談員等による相談件数(件)	教育支援施設等における特別支援教育相談及び就学前教育相談の件数。 専門相談員による指導で、特別支援教育の充実を図ります。		H27	H27
担当課			指標の把握方法(数値の出所)	145以上	166
教育指導課			市教委で受け付けた相談希望件数		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担 (市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	特別支援教育を理解し、その教育に協力している。				
	回答	件数	比率	得点評価	
	十分取り組んでいる	12	2.3%	2.4%	2.4
	取り組んでいる	39	7.6%	7.9%	5.9
	少し取り組んでいる	101	19.6%	20.5%	10.3
	あまり取り組んでいない	153	29.7%	31.1%	7.8
	全く取り組んでいない	187	36.2%	38.0%	0.0
	無回答	24	4.7%		
	総数	516	100.0%		
	有効回答数	492	100.0%		26.4

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	特別支援教育コーディネーターの養成、資質向上に向け、市独自の研修に努めます。	特別支援教育コーディネーター研修	月に1回研修を実施し、参加のコーディネーターが学校で研修内容を共有している。県特別支援教育巡回アドバイザー等を講師に招き、現場のケースについて具体的な対応策を検討するなどしている。個別の支援計画様式作成のため研究を行った。		教育指導課
①2	特別支援教育支援員の募集を市の広報紙及びホームページを通じて行い、市民から採用します。	特別支援教育支援員募集	市ホームページで広く募集し、教育指導課のリストに登録し、学校が要望する人材をそのリストから随時配置した。		教育指導課

①3	特別支援教育支援員を適切に配置し、特別な支援を要する児童・生徒へのきめ細やかな配慮をします。	特別支援教育支援員配置【マニフェスト 44】	指導課のリストに登録している人材の中から学校が要望する人材を選択し、随時配置を行った。 小中学校合計配置日数:3,092日	教育指導課
①3	特別支援教育支援員を適切に配置し、特別な支援を要する児童・生徒へのきめ細やかな配慮をします。	学びのサポーター配置【マニフェスト 44】	学びのサポーター(学生)を募集し、教育指導課に登録の上、小中学校に派遣し、特別な支援が必要な児童生徒の支援にあたった。 小中学校合計配置時間:4,656時間	教育指導課
①4	障がい者教育の専門家と提携し、特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育講演会	夏期休業中にすべての小中学校教員を対象に特別支援教育講演会を実施した。奈良教育大学の宮崎瑠理子氏を招き、タブレット研修を開催した。	教育指導課
①4	障がい者教育の専門家と提携し、特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育相談【マニフェスト 21】	元県立特別支援学校校長、臨床心理士による相談体制を整え、児童生徒、その保護者、担当教員を対象に実施した。 相談件数:94件	教育指導課
①4	障がい者教育の専門家と提携し、特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育研修【マニフェスト 21】	夏期休業中にすべての小中学校教員を対象に特別支援教育講演会を実施した。奈良教育大学の宮崎瑠理子氏を招き、タブレット研修を開催した。	教育指導課
①5	タブレットなど、ICT技術を活用した療育・学習支援や機能回復・改善のさらなる強化をします。	特別支援学級、ことばの教室、院内学級在籍児童生徒への学習支援用タブレット配備事業【マニフェスト 20】	全ての小中学校にタブレットを1台づつ配置し、使用に関する研修を行った。	教育指導課
②1	幼児・児童・生徒が主体的に取り組めるような指導・支援内容を工夫・検討するとともに、情報提供を行います。	ことばの教室・通級指導教室エル	通常学級に在籍する発達障害等のある児童生徒や保護者、担当する指導者の相談を実施した。	教育指導課
②2	スクールボランティアを募集し、特別な支援が必要な児童生徒の学習補助を行います。	スクールボランティア募集	地域の方や保護者を中心に、授業の補助など、多分野に渡り活動を実施した。	教育総務課
③1	教育相談に応じるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援施設の教育相談員を適切に配置し、活用します。	スクールカウンセラー配置	全ての小学校と中学校5校に配置。すべての中学校に、県のスクールカウンセラーを配置した。 相談件数:1,858件	教育指導課
③2	特別支援教育相談事業についての専門相談員の充実を図ります。	特別支援教育相談	元県立特別支援学校校長、臨床心理士による相談体制を整え、児童生徒、その保護者、担当教員を対象に実施した。 相談件数:94件	教育指導課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	55.9	B	市の特別支援教育は、特別支援教育相談、就学前教育相談による個別相談が充実し成果を上げている。また、発達障害等、特別な支援を要する児童生徒に対し特別支援教育支援員や学びのサポーターを配置し学習や活動の支援を行っている。さらに、来所、巡回による特別支援教育相談の制度やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる児童生徒、保護者、指導者に対する支援・相談体制も充実し、相談件数も年々増えている。近年「生駒市は特別支援教育が充実していると聞いたが」という問合せも増えている。また、以前より課題とされた市民に対する市の特別支援教育の内容の周知も、徐々に広まっていると考える。今後、ことばの教室、通級指導教室の受け入れ枠の増加や特別支援教育支援員の更なる充実という課題もあるが、総合的に順調に推移していると考える。
指標	目標値に達していない指標が多い		
市民の役割分担	26.4		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習
4年後のまち	①	だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しさを感じている市民が増えている。
	②	生涯学習の成果が地域社会に還元される機会が増えている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しさを感じている市民が増えている。				設問②	生涯学習の成果が地域社会に還元される機会が増えている。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	47	8.8%	11.1%	11.1	そう思う	19	3.7%	5.1%	5.1
	どちらかというと思う	123	23.0%	29.1%	21.8	どちらかというと思う	93	18.0%	24.9%	18.6
	どちらとも言えない	167	31.3%	39.5%	19.7	どちらとも言えない	191	37.0%	51.1%	25.5
	どちらかというと思わない	49	9.2%	11.6%	2.9	どちらかというと思わない	48	9.3%	12.8%	3.2
	そう思わない	37	6.9%	8.7%	0.0	そう思わない	23	4.5%	6.1%	0.0
	わからない	84	15.7%			わからない	117	22.7%		
	無回答	27	5.1%			無回答	25	4.8%		
	総数	534	100.0%			総数	516	100.0%		
	有効回答数	423		100.0%	55.6	有効回答数	374		100.0%	52.5
全設問の平均									54.0	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	市民1人当たりの図書貸出冊数(冊)	図書の年間貸出冊数/総人口。市民の学習意欲を示す数値の一つであり、図書サービスや利便性の向上を図り、市民1人あたりの貸出冊数の増加を目指します。		H27	H27
				11.5	10.8
	担当課		指標の把握方法(数値の出所)	図書館統計	
	図書館		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>	
2	自主学習グループによる市民向け学習会の開催回数(回)	自主学習グループが広く市民を対象に実施する学習会の開催回数。生涯学習の成果の社会還元化、ボランティア意識の高まりが数値として表れますが、現状においても活動が活発に行われていることから、開催回数の増加を目指します。		H27	H27
				239	192
	担当課		指標の把握方法(数値の出所)	広報掲載件数	
	生涯学習課		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無> 広報紙への掲載によらず、グループで案内ちらしを作成し、周知している団体が複数あること、自主学習グループの登録数がやや減少傾向にあることによる。	
3	生涯学習まちづくり人材バンク活用件数(件)	専門的な知識や経験、技能等を生涯学習のまちづくりに活かすための人材登録制度の活用件数。活発に制度が活用されていることから、活用件数の増加を目指します。		H27	H27
				410	455
	担当課		指標の把握方法(数値の出所)	まちづくり人材バンク活動支援報告書	
	生涯学習課		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>	

<補助指標>

No.	補助指標名	この補助指標について	補助指標の動向		
1	自主学習グループによる施設利用、ボランティア活動件数(回)	生涯学習の成果の社会還元化、ボランティア意識の高まりを表す数値として、市民向け学習会以外に、自主学習グループが実施する学校や高齢者福祉施設などの施設利用件数、ボランティア活動件数。		目指す値	実績値
				H27	H27
				223	223
担当課			指標の把握方法(数値の出所)		
生涯学習課			学校や高齢者福祉施設などの施設利用件数、ボランティア活動件数の合計		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>		

3 市民の役割分担 (市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	生涯学習の必要性と目的を理解し、積極的に生涯学習活動を行っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	23	4.3%	4.7%	4.7
取り組んでいる	60	11.3%	12.4%	9.3
少し取り組んでいる	94	17.7%	19.4%	9.7
あまり取り組んでいない	129	24.3%	26.6%	6.6
全く取り組んでいない	179	33.8%	36.9%	0.0
無回答	45	8.5%		
総数	530	100.0%		
有効回答数	485		100.0%	30.4

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	学習機会を紹介・案内するため情報提供を行うとともに、気軽に学習活動が楽しめる工夫やノウハウ等の情報を提供します。	生涯学習情報の提供	広報紙、市ホームページ、ツイッター等を通じて、市民へ学習機会のPRを行った。		生涯学習課
①2	いこま寿大学を充実するとともに、OB会の活動を支援します。	高齢者教育推進事業【マニフェスト 8】	OB会については、地域活動の事業の提案等を求め、社会貢献の機会を増やしていただくため、今後市として広報の掲載等により支援を進める。		生涯学習課
①2	いこま寿大学を充実するとともに、OB会の活動を支援します。	いこま寿大学入学定員の増員【マニフェスト 8】	高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援するため、人気の高いクッキングクラブを1クラブ増設増員することで、H28からの入学者の定員を21名増員して募集を行った。		生涯学習課
①3	市民ニーズの把握に努め、指定管理者のモニタリング等から得られる市民ニーズを把握し、利用者にとって利便性の高い生涯学習施設の管理を行います。	生涯学習施設整備事業	利用者が安全に安心して利用できるよう、各施設で建物や設備の補修等を行い、また備品購入等により施設の設備を充実させ、市民サービスの向上を図った。		生涯学習課
①4	現在図書館を活用していない方も利用しやすい多様な図書館サービスの拡充を図ります。	来館困難な高齢者等への本の宅配事業	H23から鹿ノ台エリアで、H27から図書館本館エリアで宅配事業を開始した。H27は2エリアで計187回実施した。H28からは、北分館、南分館、生駒駅前図書室エリアを加え市内全域で実施する。		図書館
①5	子どもの健やかな成長の糧となるように子どもの読書活動を推進します。	子ども読書活動推進事業	おはなし会、絵本の会、出前授業等を実施した。 参加者数: 16,051人		図書館
①6	図書館が本を通じて語り合う場となるとともに、自ら本を選ぶ力や語る力を育み、中学生の読書活動推進やプレゼンテーション能力の向上を図るため、ビブリオバトル全国大会、ビブリオバトル市内中学生大会を実施します。	ビブリオバトル全国大会【マニフェスト 50】	H27年9月20日に第1回ビブリオバトル全国大会を開催した。 参加者数: 予選202人、決勝344人 予選と決勝の間に文学作家講演会を開催した。305人。		図書館

①6	図書館が本を通じて語り合う場となるとともに、自ら本を選ぶ力や語る力を育み、中学生の読書活動推進やプレゼンテーション能力の向上を図るため、ビブリオバトル全国大会、ビブリオバトル市内中学生大会を実施します。	ビブリオバトル市内中学生大会 【マニフェスト 51】	H27年12月24日に第1回ビブリオバトル市内中学生大会を開催した。 参加者数: 予選167人、決勝139人。		図書館
②1	市民の学習成果を還元する学習会の開催を継続して支援します。	自主学習グループ補助金交付事業	補助対象学習会開催:192件、(内補助金交付件数151件)、補助金交付額:1,688,900円、参加者数:9,108人 自主学習グループが学習活動を通して得た知識や技術を社会に還元することを奨励し、また、文化祭の一環として自主学習グループフェスタ(成果発表会)を開催した。		生涯学習課
②2	生涯学習まちづくり人材バンクを充実し、活用を推進します。	まちづくり人材バンク設置事業	人材バンクの登録数:93件(個人67、団体26件) 活用件数:455件 利用人数:11,491人		生涯学習課
②3	学校やボランティア団体等との連携を一層推進します。	PTA協議会補助金交付事業	日本PTA全国大会や近畿ブロックPTA研究大会等の参加費について補助するとともに、生駒市PTA協議会研究大会開催への補助金交付、市との共催事業で活動実行事業を実施した。		生涯学習課
②4	退職を迎えた世代の社会参加を促進するため、地域デビューガイダンス事業の充実を図ります。	地域デビュー促進事業 【マニフェスト 10】	シニア世代を対象に、現在、地域で活動されている市民団体やボランティア団体などの紹介を行い、これまでの知識や経験等を活かして社会貢献や絆づくり、コミュニティの形成など地域で活躍してもらえるきっかけの場を提供した。 ブース参加団体:23団体 ブース参加人数:291人 3月末日までの登録:52件 (うち当日ボランティア登録:18件)		生涯学習課
②5	市民との連携や協働のもと図書館サービスを進めています。	市民との協働の推進事業	生駒おはなしの会、生駒市子どもの本連絡会、奈良昔ばなし大学実行委員会、生駒ビブリオ倶楽部、図書館側のボランティア、本の宅配ボランティア等と連携して事業を実施した。		図書館

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	54.0	C	人材バンクの利用回数や自主学習グループによる市民向け学習会の開催数はいずれも目標値を上回っており、また、いこま寿大学では、学習活動や仲間づくりを通じた高齢者の健康づくり、生きがいづくりのほか、社会貢献につながる取り組みを継続的に行っている。 生涯学習の成果を地域に還元するしくみが定着し、お互いに学び合う環境が一定整っているが、今後、さらに幅広い年齢層における生涯学習の広がりや、まちづくりの人材養成に向けた取組を強化する。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	30.4		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

【進捗度の基準】 A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	2	青少年
4年後のまち	①	地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。
	②	子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整えられている。
	③	地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。				設問②	子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整えられている。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	35	6.6%	9.0%	9.0	そう思う	51	9.6%	11.6%	11.6
	どちらかというとそう思う	107	20.2%	27.4%	20.6	どちらかというとそう思う	117	21.9%	26.6%	19.9
	どちらとも言えない	200	37.7%	51.3%	25.6	どちらとも言えない	157	29.4%	35.7%	17.8
	どちらかというとそう思わない	35	6.6%	9.0%	2.2	どちらかというとそう思わない	75	14.0%	17.0%	4.3
	そう思わない	13	2.5%	3.3%	0.0	そう思わない	40	7.5%	9.1%	0.0
	わからない	117	22.1%			わからない	67	12.5%		
	無回答	23	4.3%			無回答	27	5.1%		
	総数	530	100.0%			総数	534	100.0%		
	有効回答数	390		100.0%	57.4	有効回答数	440		100.0%	53.6
設問③	地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。									
	回答	件数	比率	得点評価						
	そう思う	14	2.7%	3.8%	3.8					
	どちらかというとそう思う	54	10.5%	14.8%	11.1					
	どちらとも言えない	186	36.0%	51.0%	25.5					
	どちらかというとそう思わない	75	14.5%	20.5%	5.1					
	そう思わない	36	7.0%	9.9%	0.0					
	わからない	124	24.0%							
	無回答	27	5.2%							
	総数	516	100.0%							
	有効回答数	365		100.0%	45.5					
	全設問の平均				52.2					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	青少年健全育成事業参加人数(人)	野外活動事業、国際交流事業、子どもの居場所作り事業、放課後子ども教室推進事業等への参加人数。少子化傾向にありますが、青少年の自立心や協調性を育むため、参加者のアンケート結果等を反映させ、現状値より多くの青少年が参加できる内容の実施に努めます。		
	担当課		目指す値	実績値
	生涯学習課		H27	H27
			3,056	6,774
			指標の把握方法(数値の出所)	
			各事業の参加人数実績報告	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

2	青少年指導委員による巡回指導回数(回)	約120名の市民等に委嘱している青少年指導委員による巡回指導回数。登下校時や夜間等に巡回指導することにより、青少年の非行防止や安全確保を目指します。		目指す値	実績値
	担当課				H27
	生涯学習課			211	271
				指標の把握方法(数値の出所)	
				青少年指導委員巡回報告カード	
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
3	青少年健全育成団体に対する支援事業回数(回)	リーダー、ジュニアリーダー、ボーイスカウト等の青少年健全育成団体に対して支援する事業の開催回数。青少年健全育成のために積極的に活動している団体に対し、補助金交付等の助成を行うとともに、若者の力を活用した事業を展開し、本市に貢献できる青少年リーダーの育成に努めます。		目指す値	実績値
	担当課				H27
	生涯学習課			19	34
				指標の把握方法(数値の出所)	
				支援事業開催回数実績報告	
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由					

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	地域で子どもを育てようという意識を持っている。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	39	7.3%	7.9
	取り組んでいる	62	11.6%	9.4
	少し取り組んでいる	168	31.5%	17.0
	あまり取り組んでいない	132	24.7%	6.7
	全く取り組んでいない	92	17.2%	0.0
	無回答	41	7.7%	
	総数	534	100.0%	
	有効回答数	493	100.0%	41.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題(ある場合のみ)	担当課
①1	青少年健全育成に関する情報提供や啓発活動の支援を行います。	青少年健全育成啓発事業	各種団体や指定管理者とも連携して、青少年健全育成事業及び啓発事業を実施した。 事業参加人数:6,774人		生涯学習課
①2	青少年の教育のため、地域、学校、家庭が連携できる環境づくりや取組の支援を行います。	チャレンジ教室事業	チャレンジ教室実施回数:5回		生涯学習課
①3	市民等が持つ能力を子育てに活かす体制づくりと活動の機会を提供します。	子どもの居場所づくり事業	いこまっこ教室実施回数:13回		生涯学習課
①4	青少年に関する相談体制・環境の充実を図ります。	青少年教育相談事業	教育支援施設の教育相談室で16歳から18歳までの青少年教育相談を実施した。来所相談の他、電話やメールによる相談にも対応した。 相談件数:68件		教育指導課
①5	ひきこもりや就労等に関する相談窓口を充実し、関係機関と連携しながら若者の自立のための支援を推進します。	若者自立無料相談事業【マニフェスト 26】	若者自立無料相談事業を実施した。 開催回数:32回(月3回) 相談件数:127件 相談人数:42人	相談件数は年々増加している。困難を抱えた若者の自立に向け、今後、庁内関係課及び関係機関が連携し、効果的な支援ができるような体制整備が必要となる。	生涯学習課
①5	ひきこもりや就労等に関する相談窓口を充実し、関係機関と連携しながら若者の自立のための支援を推進します。	若者のニート・ひきこもりや就労等に関するセミナーの開催、窓口設置・周知【マニフェスト 26】	若者自立支援セミナー開催回数:3回 市ホームページや広報紙、ツイッターによる情報の発信や、市内公共施設にポスターを掲示するなど周知に努めた。		生涯学習課

①6	指定管理者等と連携して、野外活動等の集団生活を通して自立心や協調性を育み、青少年の健全育成を図ります。	青少年野外活動事業	キャンプ実施回数:9回		生涯学習課
①7	障がいの有無、国籍や文化、性別、年齢などの違いを超えた多様性を理解し、それらを活かした社会の実現に向けた交流を行います。	ユニバーサルキャンプ事業【マニフェスト 25】	参加人数:25人 ボランティアスタッフ:17人 協賛・協力・後援企業団体数:14企業・団体	今後、継続的に事業を行っていくためには、プログラムの工夫や多様な媒体を活用した情報発信によるイベント周知、新たな協賛、後援、協力の企業、団体の募集が必要。また障がいのお持ちの方も安心して参加いただけるように、専門スキルを持ったスタッフの確保が必要となる。	生涯学習課
②1	健全育成パトロールなど、地域ぐるみの児童生徒健全育成事業推進協議会が活動できる環境の整備・取組を推進します。	地域ぐるみ健全育成推進事業	学校・保護者・地域の関係機関が協議会を設置し、中学校区単位で児童生徒の見守り活動やあいさつ運動、地域における交流会などを実施するとともに、交流学習会や合同交流発表会も実施した。		教育指導課
②2	青少年が健全に成長できるように、有害環境の浄化など社会環境を改善・整備します。	青少年健全育成環境保全事業	犯罪・事故等を未然に防止することを目的に青色防犯パトロール巡回を実施した。 巡回回数:47回 青少年に対する有害環境の浄化を目的に市内店舗の立入調査や薬物防止の街頭啓発等を実施した。 実施回数:2回		生涯学習課
②3	子どもたちが地域の中で、安全に安心して遊び、大人たちと交流できる場・機会を提供します。	放課後子ども教室事業	放課後子ども教室(真弓・俵口・生駒東) 総開催日数:89回		子ども課
②4	街頭巡回指導による青少年非行の早期発見など、非行防止活動を強化します。	青少年指導活動事業	巡回指導回数:271回		生涯学習課
②5	青少年健全育成団体が活動できる環境の整備・支援を行います。	青少年健全育成団体支援事業	ジュニアリーダー、あすなろ会、青年チーム、子ども会などの青少年健全育成団体が行う事業への支援を行った。 支援事業回数:34回	継続した活動を行うため、会員の増員を目指した各団体のPR活動及び情報提供を強化する必要がある。	生涯学習課
③1	青少年リーダー・地域リーダーの積極的な養成を行います。	青少年リーダー育成事業	青少年・青年育成登録人数:82人		生涯学習課
③2	地域のリーダーとして育てている青少年の活動の支援を強化します。	青少年団体育成支援事業	青年チームが行う事業への参加者数:605人		生涯学習課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	52.2	B	全ての指標が目標値を達成しているが、今後、地域で子どもを育成する意識を高めていく取組がさらに必要である。 地域における青少年のリーダー育成については、ここ数年、成人式運営委員から人材を発掘し、イベントの企画や運営を促すなど、まちづくりに積極的に貢献できる若者の育成に取り組んでいる。 また、新たな事業として、性別、世代、障がいの有無、国籍の違いにかかわらず、多様性を理解し、協力し合う「ユニバーサルキャンプ」を開催している。 さらに、ニート・ひきこもりへの支援対策として、「若者自立無料相談事業」に加え、庁内の関係課及び関係機関でネットワークを構築し、困難を抱えた若者の自立に向けた効果的かつ円滑な支援体制の整備を進めている。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	41.1		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

